

- 問1 江戸時代初期、徳川家康は海外への渡航を許可する証書を発行して貿易を保護・奨励しました。多くの日本人が東南アジアへ渡り、各地に日本町が形成されるきっかけとなった、この貿易の名称は何ですか。 (2018年 北海道公立入試 類似)
1. 日宋貿易                      2. 勘合貿易                      3. 朱印船貿易                      4. 南蛮貿易
- 問2 フランス革命の最中に発表され、自由・平等や私有財産の不可侵、国権在民などを唱え、近代民主主義の指針となった文書の名称として適切なものを選択してください。 (2016年 京都府公立入試 類似)
1. 独立宣言                      2. 権利の章典                      3. マグナ・カルタ（大憲章）                      4. 人権宣言
- 問3 江戸時代の長州藩における銀支出の内訳を記した史料によると、藩内での経費が約54パーセントであるのに対し、江戸での経費が約37パーセント、その他が約9パーセントとなっています。このように、大名が江戸と領地を一年おきに往復する制度によって生じた多額の経済的負担について、幕府の狙いとして最も適切な説明はどれですか。 (2022年 山口県公立入試 類似)
1. 大坂の蔵屋敷を通じた米の売買を大名に強制し、その手数料を徴収することで、幕府の財政を安定させるため。                      2. 京都の朝廷を警護するための費用を大名に負担させ、武家が公家を圧倒していることを示すため。                      3. 長崎での海外貿易の管理を大名に交代で担当させ、貿易利益を幕府が独占する仕組みを維持するため。                      4. 参勤交代によって多額の旅費や江戸滞在費を支出させ、大名の経済力を削ぐことで、幕府に対する反乱の力を抑えるため。
- 問4 1600年代の出来事を整理した年表において、1635年の「日本人の海外渡航・帰国の禁止」や、1639年の「ポルトガル船の来航禁止」といった対外政策の強化を行い、鎖国体制を完成させたとされる人物は誰か。 (2025年 愛媛県公立入試 類似)
1. 徳川慶喜                      2. 足利義満                      3. 徳川家光                      4. 豊臣秀吉
- 問5 江戸幕府は1641年、平戸の商館を長崎の人工島である出島に移し、ヨーロッパの中で唯一、特定の国にのみ貿易を許可しました。このとき貿易を許された国と、その国が幕府に海外情勢を報告するために提出を義務付けられた書類の組み合わせとして正しいものはどれですか。 (2018年 三重県公立入試 類似)
1. オランダー オランダ風説書                      2. イギリスー 海外事情届                      3. ポルトガルー 南蛮風説書                      4. スペインー 航海日誌
- 問6 近世（安土桃山時代から江戸時代）の文化に関する記述として、正しいものはどれか。 (2017年 北海道公立入試 類似)
1. 兼好法師が、無常観を記した随筆『徒然草』を著した。                      2. 紫式部が、貴族の生活を描いた『源氏物語』を著した。                      3. 雪舟が、中国で学んだ水墨画を日本で大成させた。                      4. 滝沢馬琴が、長編小説である『南総里見八犬伝』を著した。
- 問7 江戸幕府の幕藩体制において、将軍家と血縁関係にある徳川一門の大名の呼称として正しいものはどれですか。会津若松の松平氏や、尾張・紀伊・水戸の徳川家などがこれに該当します。 (2022年 福島県公立入試 類似)
1. 旗本                      2. 親藩                      3. 譜代大名                      4. 外様大名
- 問8 江戸幕府が参勤交代の制度を維持し続けた背景には、大名の軍事的な勢力を抑える目的がありました。その仕組みを、経済的な観点から説明したものとして適切なものを選んでください。 (2017年 高知県公立入試 類似)
1. 領地の特産品をすべて江戸で安く販売させ、藩の収入を幕府の財政に組み入れるため                      2. 大名が江戸に滞在している間、その領地の検地を幕府が自由に行えるようにするため                      3. 大名に多額の費用を負担させることで蓄えを減らし、軍備を整える余力を奪うため                      4. 江戸の商人に多額の税を課すため、大名を無理やり江戸の市場に参加させるため
- 問9 江戸時代の農業において、収穫作業を効率化させ、生産量の増大に寄与した技術的背景について述べた文として、最も適切なものはどれですか。 (2018年 鳥取県公立入試 類似)
1. 「千歯扱き」と呼ばれる農具が登場したことで、それまでの扱竹（こきだけ）に比べて脱穀作業の効率が飛躍的に高まった。                      2. 「惣村」と呼ばれる自治組織が、高床倉庫を共同管理することで、収穫した米の長期保存と安定供給を実現した。                      3. 「口分田」の制度を廃止して農地の私有化を認めたため、農民が自発的に灌漑用水路を整備するようになった。                      4. 「石包丁」が改良されて全国に普及したことで、一度に大量の稲を収穫することが可能になった。
- 問10 1603年に徳川家康が将軍に任命された後の江戸時代初期、幕府が特定の商人に海外渡航の許可状を与えて行わせた貿易を何と呼びますか。 (2022年 徳島県公立入試 類似)
1. 南蛮貿易                      2. 勘合貿易                      3. 日宋貿易                      4. 朱印船貿易
- 問11 江戸時代に行われた朝鮮通信使の派遣の背景や、その目的について説明したものとして、最も適切なものはどれですか。 (2026年 茨城県公立入試 類似)
1. 徳川幕府が対等な立場の国交として位置づけ、将軍の代わり目などの祝賀と幕府の権威を国内外に示すために行われた。                      2. 長崎の出島に居住する外国人が、年に一度、幕府への感謝を伝えるために江戸へ参府する制度として確立された。                      3. 中国の明や清との貿易を独占することを目的として、幕府が直接的に外交ルートを管理するために組織された。                      4. 薩摩藩を通じて幕府に服属した地域の使節が、日本の将軍の代替わりごとに忠誠を誓うために派遣された。
- 問12 田沼意次が商人に対して株仲間の公認を進め、幕府財政の再建を図った理由として、最も適切なものはどれですか。 (2021年 宮崎県公立入試 類似)
1. 都市に流出した農民を商人に転職させ、商人の数を増やすことで農業生産力を向上させようとしたから。                      2. 米の生産量が大幅に減少したため、農民からの年貢徴収を全面的に廃止して商業税だけに頼ろうとしたから。                      3. 商業活動の発達に伴い、商人から冥加金などの税を徴収することで、幕府の新たな財源を確保しようと考えたから。                      4. 外国からの貿易収入が増加したため、国内の商業を規制して幕府の貿易独占権を強化する必要があったから。
- 問13 江戸幕府はキリスト教の布教を防ぐためにキリスト教国との交流を厳しく制限しましたが、ヨーロッパの国の中で唯一、布教を行わないことを条件に長崎の出島での貿易を許された国はどこですか。 (2017年 長崎県公立入試 類似)
1. ポルトガル                      2. イギリス                      3. スペイン                      4. オランダ
- 問14 1616年から1641年にかけて、幕府は来航地の制限や特定の国の船の来航禁止を段階的に進めました。この過程において、1637年に九州で発生し、幕府がキリスト教への警戒をいっそう強めて禁教政策を徹底する決定打となった出来事は何ですか。 (2018年 静岡県公立入試 類似)
1. 和宮降嫁                      2. 島原・天草一揆                      3. 生麦事件                      4. 大塩平八郎の乱